

# 学校給食の無償化は子どもの権利

田口

孝

2024年3月23日秋葉区で行われた「春を呼ぶ学校給食無償化のつどい」で講演されたお話を、田口 孝さんの了解を得て編集部でまとめました

## 1 学校給食は教育の一環

### ○飢餓対策としての給食

第二次世界大戦直後、食料不足で餓死状態が子ども  
のなかにどんどん広がる。そうした状況のなか、いろ  
んなところから給食の物資が届くようになりました。  
下の写真は、ユニセフからミルクが届き、配給すると  
黒板に書かれていることを示す写真です。当時の給食



は、コッペパン、ミルク（脱脂粉乳）おかげがアルマ  
イトの食器に盛られていました。

昨年、長岡で戦争展を開催しました。東京から小千  
谷にきて東京に戻ったという方は、「もう食べ物がない  
く餓死しそうだった。今日  
明日死ぬかとなったとき、学  
校でこのミルクがあった。  
それで僕の命はつながった  
な」と語っていました。本  
当に切羽詰まった状況だっ  
た。

戦後の給食は、飢餓救済  
からスタートしていますが、

アメリカからいろんな物資が入ってきたということ、日本の食卓が欧米の食料戦略に組み込まれていくという一面もありました。

### ○災害対策としての給食

災害の時に給食が役に立つというのがあります。関東大震災のときに、大阪の新聞社が東京市社会局に「義捐金」を寄付。その使途として学校給食に用いることにしました。文部省は10月に、子どもたちの飢餓を防ぐために、給食を出すことを奨励しました。その結果、給食は全国に広まり始めました。

### ○保護者の運動

臨調行革時、給食の調理を、自校方式からセンター方式のすることは広がっていきました。それに対して、反対の運動が起こりました。

例えば、長岡市では、センター方式で中学校給食を始める案が出ました。それに対して、「自校方式で給食を」の市民運動が起こり、広がりました。その結果、自校方式が維持・実現しました。

その流れの延長として、今、給食無償化の運動が広

ががっていると思います。

### ○子どもの朝食は？

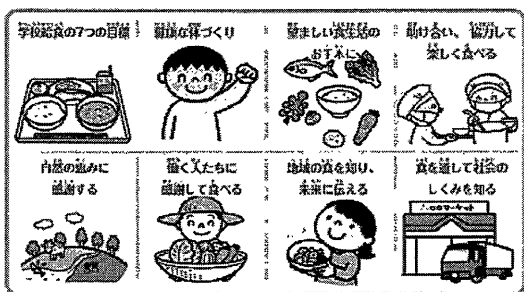
今、日本人の栄養状態は良くなり、世界の中でも長寿国と言われています。ところが、子どもたちの食事の習慣を調べてみると、朝食を食べる子どもは少ないですし、食べているとしてもヨーグルトとパンとか。5個入りクリームパン1個とヤクルトとか。そういう感じのご飯を食べてきています。だからお昼に給食を食べると、やっと子どもたちが落ち着いた学校生活を過ごせるようになる。

以前、私が教員になったばかりの頃は、朝の1時間目ってすごく学びに満ちた学校の雰囲気がありました。今は違います。今5時間目、給食の後の時間帯がみんな穏やかな表情でやっと学びに浸っている感じになります。

また、お父さんとお母さんが、遠いところに働きに行かざるを得なかったり、不規則勤務をされるていることで、朝ごはんをきちんとしたものを出すことが、大変厳しくなっていることもあると思います。

○給食は教育活動

学校給食法の中で、給食の目的が定められています。だから給食を食べることは、もう教育活動です。健康



な体づくりをする。助け合い、楽しく協力して食べる。などが書かれています。

また、食育基本法もあります。そこでは、子どもたちが豊かな人間性を育み、生きていく力を付けていくためには、食は大事だということをうたっています。地域の食料も大事だということも書かれています。

○適正な栄養の摂取で健康の保持増進

文科省が決めた「学校給食実施基準」で、子ども一人ひとりがどのぐらいの適正な量を食べなければいけないのかが決まっています。それに基づいて、栄養士

児童又は生徒一人一回当たりの学校給食摂取基準

区分	児童(6~7歳)の場合	児童(8~9歳)の場合	児童(10~11歳)の場合	生徒(12~14歳)の場合
エネルギー(kcal)	530	650	780	830
たんぱく質(%)	学校給食による摂取エネルギー全体の13~20%			
脂質(%)	学校給食による摂取エネルギー全体の20~30%			
ナトリウム(g) (食塩相当量)	1.5未満	2未満	2未満	2.5未満
カルシウム(mg)	290	350	360	450
マグネシウム(mg)	40	50	70	120
鉄(mg)	2	3	3.5	4.5
ビタミンA(μgRAE)	160	200	240	300
ビタミンB1(mg)	0.3	0.4	0.5	0.5
ビタミンB2(mg)	0.4	0.4	0.5	0.6
ビタミンC(mg)	20	25	30	35
食物繊維(g)	4以上	4.5以上	5以上	7以上

出典：「学校給食実施基準」(令和3年文部科学省告示第10号)

さんたちは献立を作ります。栄養士さんのお話では、カルシウム、鉄の基準を満たす献立が難しいそうです。よく給食無償化で給食の質が下がるのではないかと心配される方がいますが、この基準を守らなければな

らないので、そんなに心配することはありません。当然、基準がおろそかにされないように監視をしていく必要があります。

### ○命を支える給食・成長を支える給食

食べたものでしか、私たちの体はできません。特に、新陳代謝が激しい子どもは安全なものを体が要求しています。食べた途端にそれが消費されて体作りに戻っています。

だから、「慈恵」「貧困対策」ではなく、「子どもの発達保障」「教育」の視点で給食をとらえることがとても大事だと思えます。「命を支える給食、それから成長の発達を支えるのが給食だ」と思っています。

貧困対策を前面に出すと、福祉問題として貧困家庭だけの問題にすり替えられる恐れがあります。「給食は子どもの権利だ」ととらえることが大事です。

高校になると、義務教育でないので給食はなくなりません。給食がないので、お弁当を持参したり購入したりしなくてはなりません。ところが、それができない子どもがいます。

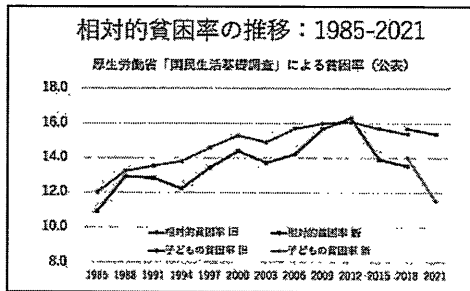
18歳までは体が成長しているので、栄養が必要な時

期です。高校生の食事も考えなくてはなりません。

## 2 貧困 子どもの食生活の差

### ○子どもの貧困の実態。

左のグラフは、相対的貧困率の推移です。2021



年の子どもの貧困率は11・5%です。前年度と比較して、ぐっと減ったように見えますが、集計方法が変わったためです。

約217万人、9人に一人が貧困状態にあります。新潟県の人口が約212万人ですから、多いという感じですね。1クラスあたり2人、3人必ずいるという状態です。

### ○子どもの貧困は食の格差・健康格差につながる

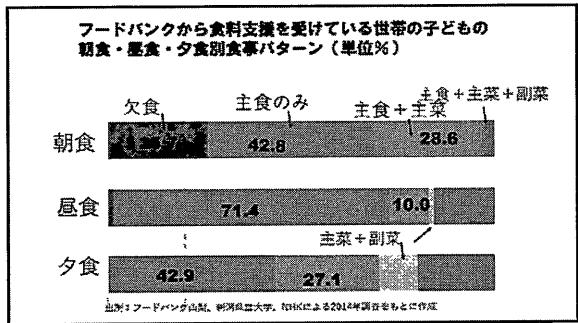
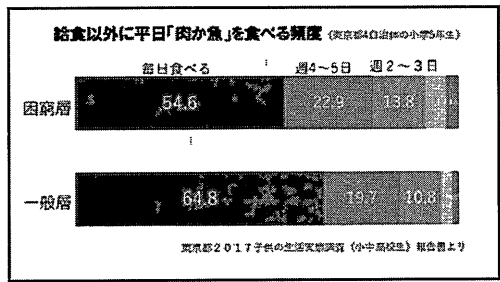
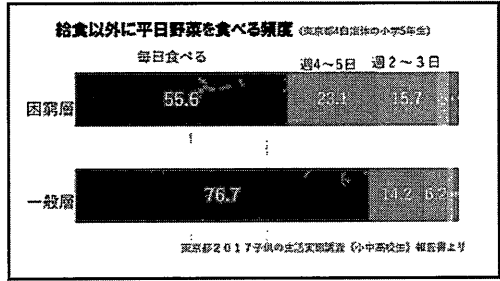
子どもの貧困は、食の格差を生み出しています。次ページの2つのグラフは、給食以外に平日野菜と肉を

食べている頻度を、困窮層と一般層で比較したものです。困窮層では約20%の家庭が週に2、3回以下しか野菜を食べてません。

明らかに、一般層と比較して、困窮層では、野菜や肉を食べる頻度が落ちていきます。

給食が大事な栄養源であることがわかります。

下のグラフは、生活困窮世帯の給食のない夏休み中の食事パターンを示したものです。支援を受けている世代の子どもたちには栄養が充分届いてないし、食事



が付いていても、そこからどうすることもできないと思っっています。

のパターンも子どもの成長を支えるものになっていません。実は子どもたちの6割の親は、子どもの健康や発達に不安を感じています。例えば栄養バランスが良くない。うちの子はよく体調崩すな。体力がない。貧血っぽい。背が伸びないな。などなど。子どもに影響が出ていることに気

### 3 学校給食費は無償化の運動を進めよう

○憲法・食育基本法・学校給食法から

学校給食は、子どもたちの生存と成長を保証し、今だけでなく未来にわたって健康な心身を美味しい食事

で確保することです。これは子どもたちの権利です。

また、食育基本法や学校給食法でしめられているように、給食は教育的な価値があります。教育である以上、憲法26条「義務教育はこれを無償とする」と明記されています。この70年間ほったらかしにしてきたことが、とても大問題だと思えます。

私が小学校の時に教科書が無償になった。次は、「給食だ」と担任の先生たちや親たちが言っていました。親世代をいくつか超えて、現在に至ってしまいました。今、運動が盛り上がっている中で、親が払うことは本当にいいのか、きちんと訴えていきたい。

### ○子育て世代の切実な要求

教育にお金がかかり、子育て世代の負担は大変です。長岡で署名活動をしていると、「給食も大事だけれども高校になって金がかかります」「大学はもったかかります」「高校生のご飯も何とかしてほしい」「夏休みの昼食、なんとかして欲しい」こうした要求がふつふつと出てきます。

子育て世代が声を上げています。子育て世代の切実な要求を実現したい。

○いろいろな意見があるが……

運動を進めていくと、いろいろな意見が出てきます。

- ・ お金がかかりすぎ。バラマキではないか
- ・ 自分の子どもの給食費くらい自分で払え
- ・ 給食無償化よりほかにすることある

・ 給食の質が下がる

・ いい車に乗っているくせに 就学援助？

・ 福祉の問題。貧困対策で

・ 高齢者福祉の方が大事

・ 国がすること

などなど。

それぞれについて、丁寧に説明し反論をしています。でも、あまり、反論しすぎると、疲れるので、ときには「はいはい」と聞き流すこともしています。

県内で給食無償化を求める運動が広がっています。互いに連携しあい、給食無償化を求めていきましょ。

(たぐち たか・長岡市)